



## 2020年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年5月14日

上場会社名 スターツ出版株式会社  
 コード番号 7849 URL <http://starts-pub.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年5月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 菊地 修一  
 (氏名) 金子 弘  
 TEL 03-6202-0311

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第1四半期の業績(2020年1月1日～2020年3月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	1,134	2.0	64	52.0	70	49.1	26	63.5
2019年12月期第1四半期	1,112	0.4	133	10.7	137	11.1	73	29.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	13.98	
2019年12月期第1四半期	38.26	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第1四半期	5,436	4,541	83.5	2,365.45
2019年12月期	5,686	4,708	82.8	2,452.48

(参考)自己資本 2020年12月期第1四半期 4,541百万円 2019年12月期 4,708百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		0.00		35.00	35.00
2020年12月期					
2020年12月期(予想)		0.00			

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2020年12月期(予想)の期末配当金につきましては、未定とさせていただきます、業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

### 3. 2020年12月期の業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)通期									

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2020年12月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、現時点において合理的な算定が困難であることから、未定とさせていただきます、業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

#### 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期1Q	1,920,000 株	2019年12月期	1,920,000 株
期末自己株式数	2020年12月期1Q	147 株	2019年12月期	147 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期1Q	1,919,853 株	2019年12月期1Q	1,919,853 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したもので、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は今後の様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績見通し等に関する事項はP. 3'1. 当四半期決算に関する定性的情報の(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明、をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、消費減退、企業活動の低下の動きが見られております。また、世界経済においても、新型コロナウイルスの影響により景気後退懸念が台頭し、先行きに対する不透明感が増しております。

このような環境の中で、当社は「感動プロデュース企業へ」という経営ビジョンのもと、既存の出版社の枠にとらわれず「メッセージやストーリーの詰まったコンテンツとサービスで、新たな時間の使い方や、ライフスタイルを提案し、感動の輪を広げる」ことを目的とし、紙・電子出版による雑誌、書籍、コミックの発行、女性向けWEBサイト「オズモール」、ケータイ小説投稿サイト「野いちご」等のWEBサイトの運営、オリジナルイベントの開催とそれらを掛け合わせたソリューションビジネスを軸として事業を運営してまいりました。また、当第1四半期累計期間は「オズのプレミアム予約」シリーズにおける優良予約プラン開発、SEOなどのユーザー集客対策の強化、SNSコミュニティ「東京女子部」による情報拡散を掛け合わせたPR・販促ソリューションの提供、小説投稿サイトにおけるUXの向上等による新規ユーザーの獲得、新たなターゲット層に向けた小説ジャンルの開発、電子コミックレーベル「noicomi」「Berry's Fantasy」の作品数の増加等に注力し、事業規模の拡大を推進しております。

このような営業活動の結果、当第1四半期累計期間の売上高は11億34百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益は64百万円（前年同期比52.0%減）、経常利益は70百万円（前年同期比49.1%減）、四半期純利益は26百万円（前年同期比63.5%減）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

#### <東京マーケティングドメイン>

東京マーケティングドメインにおきましては、東京圏で、オリジナルのマーケティング・モデルを創造するという戦略のもと、「厳選店舗マーケティング」と「体験価値マーケティング」を軸に事業を展開してまいりました。

「厳選店舗マーケティング」は、「オズモール」（会員数：340万人）の成功報酬型の送客サービス「オズのプレミアム予約」シリーズを中心に展開し、独自基準で厳選したビューティサロン、ホテル、レストランなど約5300施設の利用予約サービスを提供しております。当第1四半期累計期間は、予約可能施設の拡充やSEO対策などの施策を進めてまいりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大にともなう外出自粛等の影響により、前年同期と比較して送客手数料売上が減少いたしました。

「体験価値マーケティング」では、「オズモール」や女性向けライフスタイル誌「オズマガジン」、フリーマガジン「メトロミニッツ」等のメディアを展開しております。当第1四半期累計期間は、SNSコミュニティ「東京女子部」と連動したソリューション提案等が奏功し広告売上が増加いたしました。雑誌の販売売上は、おでかけ情報を主なコンテンツとする「オズマガジン」の売上が、新型コロナウイルスの影響もあり、前年同期と比較して減少いたしました。

このような営業活動の結果、東京マーケティングドメインの売上高は7億32百万円（前年同期比5.2%減）、営業損失は9百万円（前年同期は、58百万円の営業利益）となりました。

#### <投稿コンテンツドメイン>

投稿コンテンツドメインにおきましては、「野いちご」（会員数：89万人）をはじめとするターゲット別小説投稿サイトの運営と小説投稿サイトの人気作品を中心とした書籍及びコミックの発行を継続的に行っております。

当第1四半期累計期間は、大人向け恋愛小説レーベル「ベリーズ文庫」の作品を原作とした電子コミック「ベリーズコミックス」の売上が堅調に推移したことにより、売上高は増加いたしました。営業利益につきましては、昨年創刊いたしました電子コミック誌「noicomi」「Berry's Fantasy」の掲載作品の増加にともない前年同期と比較して制作コストが増加したことにより、ほぼ横ばいとなっております。なお、当第1四半期累計期間に電子コミック誌に掲載を開始した作品の業績への寄与は、電子単行本化が予定される第3四半期以降となる見込みです。

このような営業活動の結果、投稿コンテンツドメインの売上高は4億1百万円（前年同期比18.4%増）、営業利益は1億4百万円（前年同期比1.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第1四半期累計期間末の総資産は、前事業年度末と比べて2億49百万円減少し、54億36百万円となりました。流動資産は、現金及び預金が1億97百万円、前払費用が17百万円増加した一方で、売掛金が3億4百万円減少したこと等により、前事業年度末に比べて66百万円減少し、44億92百万円となりました。

固定資産は、前事業年度末と比べて1億83百万円減少し、9億44百万円となりました。

(負債)

当第1四半期累計期間末の負債は、前事業年度末と比べて82百万円減少し、8億95百万円となりました。

流動負債は、賞与引当金が75百万円増加した一方で、未払法人税等が57百万円、買掛金が27百万円減少したこと等により、前事業年度末と比べて11百万円減少し、7億90百万円となりました。

固定負債は、前事業年度末と比べて71百万円減少し、1億4百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期累計期間末の純資産は、前事業年度末に比べて1億67百万円減少し、45億41百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期累計期間における現金および現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ1億97百万円増加し、15億1百万円となりました。

当第1四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払1億13百万円、仕入債務の減少27百万円、返品調整引当金の減少23百万円等による資金の使用の一方で、税引前四半期純利益70百万円、減価償却費31百万円の計上、売上債権の減少3億4百万円等の資金の獲得により、2億94百万円の資金を獲得(前年同四半期は1億57百万円の資金を獲得)いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、オフィスの改装等による有形固定資産の取得15百万円、「オズモール」のシステム開発等の無形固定資産の取得14百万円により、30百万円の資金を使用(前年同四半期は13百万円の資金を使用)いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払により、66百万円の資金を使用(前年同四半期は65百万円の資金を使用)いたしました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期第2四半期(累計)及び通期業績につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響による、飲食店、ビューティサロン等の掲載施設の休業、営業時間短縮の実施及び外出自粛要請により、施設予約サービス「オズのプレミアム予約」シリーズの予約数が減少しております。また雑誌及びWEB広告掲載、イベントの開催に中止又は延期が発生しております。

このような状況の中、2020年12月期第2四半期(累計)及び通期業績予想につきましては、現時点では新型コロナウイルスの終息時期の見通しが立たず、合理的な算定が困難なため、一旦取り下げ未定とさせていただきます。今後、業績予想の算定が可能となった段階で改めて公表いたします。

また、2020年12月期の期末配当予想につきましても、一旦取り下げ未定とさせていただきます。今後、業績予想の算定が可能となった段階で改めて公表いたします。

詳細につきましては、本日発表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,304,240	1,501,813
売掛金	1,683,769	1,379,595
製品	46,062	48,972
仕掛品	87,238	89,764
前払費用	22,570	40,001
関係会社預け金	1,500,000	1,500,000
その他	641	805
返品債権特別勘定	△83,801	△67,535
貸倒引当金	△1,786	△1,018
流動資産合計	4,558,934	4,492,398
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	3,857	20,027
工具、器具及び備品(純額)	10,885	9,905
有形固定資産合計	14,742	29,932
無形固定資産		
商標権	1,138	1,333
ソフトウェア	290,896	271,399
電話加入権	2,376	2,376
ソフトウェア仮勘定	2,704	5,984
無形固定資産合計	297,114	281,092
投資その他の資産		
親会社株式	603,231	434,283
投資有価証券	86,046	72,323
差入保証金	96,995	96,995
その他	29,603	29,685
投資その他の資産合計	815,876	633,287
固定資産合計	1,127,733	944,312
資産合計	5,686,668	5,436,711

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	273,342	245,967
未払金	34,442	43,305
未払費用	29,667	40,542
未払法人税等	110,738	53,234
未払事業所税	4,250	1,092
未払消費税等	41,530	40,857
前受金	21,859	20,218
預り金	36,060	43,693
賞与引当金	32,000	107,000
返品調整引当金	211,470	187,935
ポイント引当金	6,803	7,133
流動負債合計	802,165	790,980
固定負債		
役員退職慰労引当金	51,000	52,900
退職給付引当金	3,051	5,626
繰延税金負債	122,048	45,881
固定負債合計	176,099	104,407
負債合計	978,265	895,388
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	540,875	540,875
資本剰余金	536,125	536,125
利益剰余金	3,199,974	3,159,624
自己株式	△350	△350
株主資本合計	4,276,624	4,236,274
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	431,779	305,048
評価・換算差額等合計	431,779	305,048
純資産合計	4,708,403	4,541,323
負債純資産合計	5,686,668	5,436,711

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	1,112,268	1,134,175
売上原価	645,826	696,166
売上総利益	466,441	438,008
返品調整引当金戻入額	245,765	211,470
返品調整引当金繰入額	206,445	187,935
差引売上総利益	505,761	461,543
販売費及び一般管理費	372,316	397,460
営業利益	133,445	64,083
営業外収益		
受取利息	1,672	1,904
貸倒引当金戻入額	9	1,076
雑収入	2,840	3,187
営業外収益合計	4,522	6,169
営業外費用		
雑損失	-	61
営業外費用合計	-	61
経常利益	137,968	70,191
税引前四半期純利益	137,968	70,191
法人税、住民税及び事業税	74,556	63,572
法人税等調整額	△10,041	△20,226
法人税等合計	64,515	43,346
四半期純利益	73,452	26,845



(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	137,968	70,191
減価償却費	32,556	31,318
貸倒引当金の増減額(△は減少)	80	△767
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,900	1,900
賞与引当金の増減額(△は減少)	65,400	75,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	-	2,574
返品債権特別勘定の増減額(△は減少)	△8,635	△16,265
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△39,320	△23,535
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△3,913	329
受取利息及び受取配当金	△1,672	△1,904
売上債権の増減額(△は増加)	170,597	304,173
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,216	△5,435
その他の資産の増減額(△は増加)	△10,787	△17,595
仕入債務の増減額(△は減少)	△40,033	△27,375
未払金の増減額(△は減少)	△2,201	7,768
未払消費税等の増減額(△は減少)	△21,031	△673
その他の負債の増減額(△は減少)	28,669	13,493
その他	△6,089	△7,707
小計	298,275	405,488
利息及び配当金の受取額	1,672	1,904
法人税等の支払額	△142,440	△113,368
営業活動によるキャッシュ・フロー	157,508	294,024
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△532	△15,231
無形固定資産の取得による支出	△13,116	△14,814
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,648	△30,046
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△65,902	△66,405
財務活動によるキャッシュ・フロー	△65,902	△66,405
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	77,956	197,572
現金及び現金同等物の期首残高	1,253,355	1,304,240
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,331,312	1,501,813

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		計	調整額(注)	四半期損益 計算書計上額
	東京マーケティング ドメイン	投稿コンテンツ ドメイン			
売上高					
外部顧客への売上高	773,371	338,896	1,112,268	—	1,112,268
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	773,371	338,896	1,112,268	—	1,112,268
セグメント利益	58,296	102,999	161,295	△27,850	133,445

(注) 1. セグメント利益の調整額△27,850千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用になります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		計	調整額(注)	四半期損益 計算書計上額
	東京マーケティング ドメイン	投稿コンテンツ ドメイン			
売上高					
外部顧客への売上高	732,923	401,251	1,134,175	—	1,134,175
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	732,923	401,251	1,134,175	—	1,134,175
セグメント利益	△9,024	104,166	95,141	△31,058	64,083

(注) 1. セグメント利益の調整額△31,058千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用になります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。